

事務事業評価シート

(H.29)No.	6053	(H.28)No.	6053
-----------	------	-----------	------

事務事業名	民生委員・児童委員活動費		
担当部局名	担当室名	室長名	
福祉子ども部	医療福祉総務室	田中 克広	

会計区分	事業コード	121501
一般会計	(中事業名)※予算書事業名	
款 民生費	民生委員・児童委員活動費	
項 社会福祉費	(小事業名)	
目 社会福祉総務費	民生委員・児童委員活動費	

1. 事務事業の位置付け

総合計画	政 策	1	支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
	基本施策	2	保健・医療・福祉のネットワークづくり
	施 策	1	保健・医療・福祉ネットワーク
	重点プロジェクト		

2. 事務事業の概要

事業目的(めざす効果)
民生委員・児童委員の組織的な活動を強化することにより、社会福祉活動の充実を図る。
事業内容
名張市民生委員児童委員協議会連合会へ次の社会福祉活動を委託している。 ①調査活動、②保護指導活動、③社会福祉施設との連携、④社会福祉事務所等関係行政機関の業務に対する協力、⑤生活指導等その他福祉に関すること

3. 総合計画の目標達成に向けた主な事業の実績・計画

	H.28年度(事業量・取組実績)	H.29年度(事業量・取組計画)
主な事業の実績・計画	○活動委託料(30,000円×182名)※12月～4名増 ○研修参加負担金 ○事務局経費	○活動委託料(30,000円×186名) ○研修参加負担金 ○事務局経費 ○記念事業開催補助金

	H.30年度(事業計画)	H.31年度(事業計画)	H.32年度(事業計画)
	○活動委託料(30,000円×186名) ○研修参加負担金 ○事務局経費	○活動委託料(30,000円×186名) ○研修参加負担金 ○事務局経費	○活動委託料(30,000円×186名) ○研修参加負担金 ○事務局経費

	H.28年度(決算見込)		H.29年度(作成時予算額)		H.30年度(計画予算)	H.31年度(計画予算)	H.32年度(計画予算)
	H.27繰越分	H.28現年分	H.28繰越分	H.29現年分			
①直接事業費		5,503千円		5,835千円	5,635千円	5,635千円	5,635千円
内訳(千円)	国・県支出金						
	地方債						
	その他()						
	一般財源	0	5,503	0	5,835	5,635	5,635
人工数	職員		0.41人		0.61人	0.61人	0.61人
	臨時職員等						
②概算人件費	0千円	3,075千円	0千円	4,575千円	4,575千円	4,575千円	4,575千円
①+②総事業費	0千円	8,578千円	0千円	10,410千円	10,210千円	10,210千円	10,210千円

4. 担当室による事務事業の点検

考察(H.28年度の取組評価、課題、施策への貢献、市民との協働など)
地域における福祉課題が多様化・複雑化する中で民生委員児童委員の担う役割はますます重要になっている。平成28年12月の一斉改選においても、欠員なく選任が行われている。民生委員児童委員活動に必要な研修等を連合会が効果的に実施することで委員の資質向上と地域福祉の推進を図ることができた。地域における見守り支援ネットワークやささえあい体制の構築のためには、民生委員の存在を欠かすことはできない。民生委員の活動の多くは地域づくり組織や自治会等と一体的又は連携のもとで行われている。

5. 今後の方向性(担当室による内部評価)

【選択肢】 継続(改善)、継続(現行)、継続(拡大)、継続(縮小)、統合検討、休止検討、廃止検討、事業完了(予定含む)	継続(現行)
今後の対応方針(課題解決への取組内容、具体的な見直し内容、継続の理由等)	6. 事務事業の取組に関する市の計画
引き続き連合会が主体となって民生委員児童委員の資質向上を目的とした研修等を行い、もって地域福祉の推進を図る。地域福祉を推進するためには、民生委員の存在を欠かすことはできない。	地域福祉計画